

科目名	情報学部・科目5	出席・回答率 (出席・回答者数/登録者数)	69.5%
			(41/59)

設問項目別回答率

【I】

(1)あなたは、この授業にどの程度出席していますか。

ア. 毎回出席している イ. 大体出席している ウ. 半分ぐらい出席している エ. あまり出席していない

ア	56.1%	イ	31.7%	ウ	12.2%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(2)あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。

ア. かなり積極的である イ. やや積極的である ウ. やや消極的である エ. かなり消極的である

ア	15.0%	イ	50.0%	ウ	25.0%	エ	10.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(3)あなたは、この授業に関する自学自習をしていますか。

ア. かなりしている イ. ある程度している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない

ア	10.0%	イ	20.0%	ウ	45.0%	エ	25.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(4)シラバスは授業の目標、内容、評価法などを示していますが、この授業を履修するのに役立ちましたか。

ア. かなり役立った イ. ある程度役立った ウ. あまり役立たなかった エ. 全く役立たなかった オ. 読まなかった

ア	12.2%	イ	29.3%	ウ	14.6%	エ	4.9%	オ	39.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	-------

(5)この授業内容のボリューム(分量)は適当ですか。

ア. かなり多い イ. やや多い ウ. 適当である エ. やや少ない オ. かなり少ない

ア	12.2%	イ	24.4%	ウ	56.1%	エ	7.3%	オ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(6)この授業の難易度は適当ですか。

ア. かなり難しい イ. やや難しい ウ. 適当である エ. やや易しい オ. かなり易しい

ア	24.4%	イ	41.5%	ウ	31.7%	エ	0.0%	オ	2.4%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(7)担当の先生の説明は分かりやすいですか。

ア. かなり分かりやすい イ. やや分かりやすい ウ. やや分かりにくい エ. かなり分かりにくい

ア	26.8%	イ	46.3%	ウ	19.5%	エ	7.3%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(8)テキストやレジュメなど教材はこの授業の理解に役立っていますか。

ア. かなり役立っている イ. ある程度役立っている ウ. あまり役立っていない エ. 全く役立っていない

ア	28.2%	イ	41.0%	ウ	17.9%	エ	12.8%
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(9)担当の先生は授業にあたり、毎回どの程度準備していると思われますか。

ア. かなりよく準備している イ. ある程度準備している ウ. あまり準備していない エ. 全く準備していない

ア	50.0%	イ	30.0%	ウ	17.5%	エ	2.5%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(10)先生の授業に対する熱意や意欲は感じられますか。

ア. かなり感じられる イ. ある程度感じられる ウ. あまり感じられない エ. 全く感じられない

ア	30.0%	イ	55.0%	ウ	15.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(11)11月の授業内で、「授業改善シート」は実施されましたか。

ア. 実施された イ. 実施されなかった、または、実施時に欠席していた

ア	84.2%	イ	15.8%
---	-------	---	-------

(12)「授業改善シート」の結果を受けて、どの程度授業が改善されましたか。

ア. かなり改善された イ. ある程度改善された ウ. あまり改善されなかった エ. 全く改善されなかった

ア	28.2%	イ	48.7%	ウ	17.9%	エ	5.1%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(13)この授業に関する受講生の声(意見・質問)に対して、教員から何らかの説明がありましたか。

ア. かなり十分な説明があった イ. ある程度説明があった ウ. あまり説明がなかった エ. 全く説明がなかった

ア	30.0%	イ	45.0%	ウ	20.0%	エ	5.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(14)この授業を受けて、学習意欲は刺激されますか。

ア. かなり刺激される イ. ある程度刺激される ウ. あまり刺激されない エ. 全く刺激されない

ア	27.5%	イ	40.0%	ウ	25.0%	エ	7.5%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(15)この授業の内容は理解出来ますか。

ア. かなりよく理解できる イ. ある程度理解できる ウ. あまり理解できない エ. 全く理解できない

ア	17.5%	イ	40.0%	ウ	25.0%	エ	17.5%
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(16)この授業に満足していますか。

ア. かなり満足している イ. やや満足している ウ. やや不満である エ. かなり不満である

ア	20.0%	イ	37.5%	ウ	32.5%	エ	10.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(17)自分を作り上げる努力をするうえで、この授業は役立ちますか。

ア. かなり役立つ イ. ある程度役立つ ウ. あまり役立たない エ. 全く役立たない

ア	35.0%	イ	40.0%	ウ	22.5%	エ	2.5%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(18)あなたはこの授業を他の学生にも薦めたいですか。

ア. ぜひ薦めたい イ. できるだけ薦めたい ウ. あまり薦めたくない エ. 薦めたくない

ア	28.2%	イ	43.6%	ウ	20.5%	エ	7.7%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

## 【Ⅱ】

[A]この授業を履修した動機は何ですか。当てはまるものを全て選びマークしてください。

- (19)専門性を高めたいから (20)興味・関心を持ったから (21)友達・先輩が取ったから  
(22)時間割上の都合から (23)簡単に単位が取れそうだから (24)必修だったから

(19)	19.5%	(20)	34.1%	(21)	7.3%
(22)	14.6%	(23)	2.4%	(24)	61.0%

[B]あなたがこの授業で工夫してもらいたいと思うものを全て選びマークしてください。

- (25)ビデオなど視聴覚教材の活用 (26)power pointなどのIT教材の活用 (27)上手な板書  
(28)話題や例示の妥当性 (29)この中にはない (30)満足している

(25)	9.8%	(26)	9.8%	(27)	14.6%
(28)	2.4%	(29)	26.8%	(30)	29.3%

[C]この授業で先生とどのような手段で交流をはかりたいですか。該当するものを全て選びマークしてください。

- (31)教室での対話 (32)教室外での対話 (33)e-mail (34)オフィスアワー  
(35)レポートによる感想や意見 (36)この中にはない (37)その他

(31)	29.3%	(32)	12.2%	(33)	7.3%	(34)	2.4%
(35)	4.9%	(36)	43.9%	(37)	0.0%		

### ①自己評価

本講義の履修登録者61名のうち、出席率50%以上が8割弱、同75%以上が6割強であった。本講義は情報学部1回生44名にとって登録必修科目であったことから、出席率が高かったと思われる。前期授業アンケートの回答者41名は履修登録者の7割弱にあたり、アンケート結果には、出席率のよい学生の意見が強く反映されていると考えられる。

本講義は登録必修科目であることから、受講者の中には、現時点でプログラミングに興味・関心のない学生もいる。そこで、多くの受講生にアプリケーション開発への興味をもってもらえるように、プログラミング効果が視覚的に確認しやすいWindowsアプリケーションの開発を題材に選び、文法的な事柄は必要最小限に留めた。

毎回、授業の冒頭でソースコードを提示し、その一部を書き換えながら関数の働きを紹介してきた。煩雑な入力作業を極力抑えるように努めたが、多くの受講生は「(問5)授業内容の分量が多い」37%と感じている。また、過半数の受講生が「(問6)授業の難易度が高い」66%と答えている他、「(問7)説明がわかりにくい」27%、「(問9)授業の準備不足」20%、「(問15)授業が理解できない」41%等、授業への不満を抱いている学生もいる。

自由記述欄には「前回の復習を行なってほしい」との声があった。毎回、前回との関連性のない授業が多かったため、復習は行なわなかったが、課題の返却時にその解説を通して復習を行なった方がよかったか考える。

### ②評価に対する教員の思い

本講義では宿題を課しておらず、「(問10)自学自習していない」学生が多い(68%)。プログラミングは試行錯誤する中で身に付いていく技能であることから、自発的に勉強する動機付けとして、宿題を課した方がよかったかもしれない。アプリケーション開発に興味・関心のある学生は、授業以外の場でもプログラミングに取り組んでもらいたい。そうした中で、どうしても分からない事柄については教員や友達に相談するなどして、プログラミング技術の向上を目指してほしい。自発的な勉強を促す上でも、「(問14)学習意欲を刺激されない」学生(32%)や「(問2)授業に積極的に取り組めない」学生(34%)にも興味をもってもらえるよう、授業内容や教授方法の改善が必要かと思う。

### ③より充実した授業のために・・・自己評価を踏まえての目標と課題

プログラミングに関する講義は前期で終了するため、アンケートで指摘された本講義固有の問題点は、来年度の授業計画の際に活用していくことになる。ただし、教授方法等に関する一般的な問題点については、後期開講の他の講義科目における授業改善に役立てていく。「(問25~30)授業で工夫すべき点」として、「上手な板書」(15%)の指摘があった。「(問5)授業内容の分量が多い」と感じた学生(37%)が多かったように、本講義では授業内容をこなすために、授業の進行とともに、板書が劣化していったように自認している。毎回の教授すべき重点を整理し、授業内容を取捨選択することによって、ゆとりをもった授業展開を行ない、丁寧な板書を心がけていきたい。

配布資料は参考資料として位置づけており、授業で取り上げなかった関連項目についても掲載していた。また、授業で取り上げた関数についての解説のみであり、授業時の作業手順を示したものではなかった。そのため、資料をどのように活用すればよいのか分からず、「(問8)教材は授業理解に役立たない」(29%)と感じた学生もいるようだ。配布資料に掲載する内容についても精査し、授業の中で参照すべき箇所を細かく指示していく必要がある。

※①②③に記載された内容については、学生に対しては、科目名・教員名を記載し学内webにて公表します。  
学外への公表については、教員名を消し、科目名を(例)「学部・科目1」という表記にして公開します。